

各種報告

東北地区本部第26回 拡大地区委員会開催

3月28日、秋田市内において第26回拡大地区委員会を開催しました。佐藤執行委員による開会挨拶で始まり、議長には秋本副委員長を選出し、執行部を代表して、小笠原委員長兼本部副委員長挨拶では、1点目として、2018春季生活闘争の経過を報告し、2月の強風や雪害等で列車が運休し運輸収入が減ったが、連結決算では、ほぼ計画通りに計上できることで、19年連続の「ベアゼロ」は納得できないと、強く交渉を続けた結果、会社は定昇4号俸・「ベア」300円実施を回答した。要求額に乖離はあるものの、会社の回答を評価し、即日妥結に至った。2点目は、昨年12月16日、鹿兒島線千早操車場構内での労災事故を振り返り、「安全問題」を提起し、ポイント清掃、油さし等で一人作業をしていないか、決められた作業手順をしっかり守っているか徹底してほしい。また、「安全最優先の職場風土づくり」のためにも「ヒヤリ・ハット」「事故の芽」を積極的に報告することで、「死亡事故・重大労災ゼロ」目指し、悲惨な事故を二度と起こさない安全最優先の職場づくりを目指して頂きたい。3点目は、昨年の全国大会以降、九州において組織拡大がなされた。JR東日本においては、東労組合員の大量脱退が起こっている。JR総連の動きを注視し、組織運動を盛り上げて頂きたいと挨拶されました。



来賓挨拶では、全交通共済秋田事業所高橋所長より、共済の事業内容の説明を行い、共済と組合活動は車の両輪であり、これからも加入者の拡大をよろしく願いたいと挨拶されました。その後、執行部より定期大会以降の経過の報告、今後の活動方針が提起され、平野副委員長からのダイヤ改正交渉中身の説明後、質疑・応答に移りました。質疑では、仙台総鉄・宮城野派出の作業員体制及び教育の在り方、秋田貨物駅の工事後の整備在り方等の質疑があり、執行部より、団交等や関係箇所への要請で改善していきたいとの答弁後、委員会宣言を採択し、小笠原委員長の「団結ガンバロー」で委員会を終了しました。

JR連合第17回青年 女性役員研修会開催

3月25、26日、都内において

て、第17回青年女性役員研修会が開催され、貨物鉄産労からは、本部青年部長鈴木教仁、南関東ロジ労組から、高橋将之と沼尾雄介、計3名が参加しました。

1日目、JR連合中山組織部長から「JR労働界のこれまでの変遷」についての特別講義があり、国鉄時代・JRになってからの歴史、民主化闘争とは？について話されました。

続いて、JREユニオンの方より、民主化闘争について講義があり、三鷹電車区事件・浦和電車区事件が起こった背景や内容についてお話を頂きました。

次に、JR連合松岡会長より、現在のJR内における労組の活動内容や、JR東日本東労組の近況について、お話を頂きました。



2日目は、グループに分かれて、民主化当該単組の現状や活動について、東労組の大量脱退は、なぜ起こったのかを討議し、「あるべき労働組合の形」や、「あるべき労使関係」について、各グループがまとめ、それぞれ発表し、研修会を終えました。

2日間、内容のある中身で、各単組やグループ労組との交流

を深めることができ、またお互いに学び合うことで、JR連合の仲間意識を高める事が出来ました。



「平成30年度 特別優秀章及び優秀章表彰式」 全国で22名受章される。

北海道地区本部・中井真二氏 東海地区本部・野村健二氏

4月6日、新宿京王プラザホテルにて於いて、「平成30年度特別優秀章及び優秀章表彰式」が行われ、昨年度の東海地区本部・西浜松駅白井孝治助役に引き続き、北海道地区本部・東日本工務管理事務所札幌工務支所 中井真二施設技術主任及び、東海地区本部・名古屋ターミナル駅 野村健二助役が優秀章を受章されました。

冒頭、田村社長より、受章者全員に表彰状授与され、阪神淡路大震災、リマンショック等の困難を受章された皆さんが現場力で乗り越え、奮闘があったお陰で、おそらく2年連続、鉄道事業黒字達成が出来たのではないかと祝辞が述べられました。

中井真二技術主任は、「あの広い北海道の保全を一括管理しており大変だが、犬釘を打つ魅力もある」と思いがあり、昨年度、東海支社は優秀な営業成績で締めることが出来ました要因



左 野村健二助役
右 中井真二技術主任

の一つとして、名古屋ターミナル駅から福山通運号の新設列車に奮闘した野村健二助役の存在があったのではないかと思います。

今後とも、お二人の更なる奮闘をお祈りし、近い将来、「特別優秀章」を期待しております。本日は、誠にありがとうございました。

関西地区本部 代表者会議開催

3月31日広島市内において開催し、川本副委員長の開会挨拶が始まり、埴岡書記長を座長に議事が進められました。福本委員長の挨拶では、会社の経営状況と動向、2018春季生活闘争の総括、JR東日本の状況と関西地区本部の課題について考え方を述べました。

その後、埴岡書記長より定期大会以降の経過報告および今後の取り組みについて一括提案が行われ、質疑



応答では、「嘱託社員と現職社員の仕事量が変わらないのはいかがなものか」・「H30年度末で、ある職場が無くなるかもしれないと聞く。公でなく噂である。会社はどう考えているのか」・「先日発生した、広島夕電子連動故障は、駅としても経験したことのない事態であった。早期に更新してほしい」・「エアコンのフロンガスやモーターに付着した石綿など廃棄処分をせず敷地内にたまる一方だ。早急に改善を」等の意見が出されました。執行部による集約答弁を行い、川本副委員長の閉会挨拶、福本委員長の団結ガンバローで会は終了しました。

その後、場所を移し懇親会を行い、会議で行った議論を更に深掘りした内容が飛び交いました。

榛葉賀津也国政報告会

3月31日、静岡県菊川市内において、地元支援者、労働団体、メディア等、約1000名が集まり、榛葉賀津也国政報告会が行われました。

主催者を代表し、歩む会松下会長、続いて太田菊川市長より挨拶を頂き、続いて、民進党大塚耕平代表が、現在の国会状況を、仏教と哲学を交えて説明をし、民主主義における政

治と選挙の関わり方や、今後の民進党の方向性を理想な党にするために、選挙で政治のバランスを変えて頂き、日本の国会を変えていきたいと述べられました。



続いて、連合静岡中遠地協沖宗議長、民進党岡本県連幹事長、小山のぶひろ前衆議院議員の挨拶と各来賓の紹介をし、榛葉賀津也国政報告会では、まず、昨年10月に行われた衆議院選挙からこれまでの経過を話され、今後についてのお話では、新しい方向に向かっていくには、お互いの共通点を認め合い「働く人のための政党」を築くためにもう一度再出発を行っていききたい。

現在1年間で約70万人の人口が減少していく少子化問題については、人口1億人をキープ出来るシステム作りと、現在減りつつある労働力を、どのように生かしていくか、世間で言われている、いわゆる103万円、130万円の壁をどう解決していくか。また、働き方改革に於ける女性と年収200万円以下のワーキングプワールと言われる問題では、富裕層とそうでない層では、その差がどんどん乖離している。まずは、庶民の皆さんの生活を潤し、安心して老後でも働ける社会を構築し、庶民の皆様を守っていくことを国会で訴えていきたいと熱く述べ、最後に

来年4月に行われる参議院選挙に挑戦するため、今後の厚いご支援ご協力をお願いし、国政報告を終えました。

静岡支部西部分会、花見フアミリーレクを開催

4月3日、徳川家康によって築城された浜松随一の桜の名所である浜松城公園において、静岡支部西部分会はお花見フアミリーレクを開催し、組合員・家族、OB、計26名が参加し盛大に行われました。

昨年のお花見レクは蕾、そして今年は開花時期が早く葉桜となってしまうのかと心配しましたが、枝垂れ桜については満開で桜から望む浜松城は大変優雅なものでした。

小山分会会長開会の挨拶では、フアミリーレクの取り組みについて述べ、続いて来賓の東海地区本部富田副委員長からは、春闘・各組合の動向について報告がありました。続いて、青年部員の結婚報告、奥さまの紹介があり、新婚のお幸せと組合の発展を祈念し井



浜松城花見

熊書記長の乾杯で宴が始まりました。西部分会では組合員のコミュニケーションはもとより、組合活動には家族の理解と協力が大変必要とすることから、毎年フアミリーレクに取り組み、家族と共に楽しみ仲間や組合活動の大切さを感じて頂いています。そして青年部もレクを通して自ら役割を見出し、良い取り組みとなりました。年々家族が増え、参加者も増えてきています。来年のお花見レクも楽しみにして頂きたいと思えます。

JR連合東海地方協議会 民主化支援「フアミリーレク」を開催

3月27日(火)愛知県日進市の「愛知牧場」において、JR連合東海地方協議会主催の「民主化支援フアミリーレク」が、約160名の組合員・家族が参加し盛大に開催されました。貨物鉄道労働者からも多くの組合員と家族が参加しました。

当日は、暑くもなく寒くもない丁度よい天候に恵まれ、桜が八分咲きという絶好の行楽日和となり、マイカーや貸切JR東海バスに分乗し現地に集合しました。

フアミリーレクは、小倉事務局長の進行で尾内議長よりご挨拶を頂き、榎副議長の乾杯で楽しく進行していきました。パーベキューコーナーでは、アルコールやソフトドリンクを片手に次々と調理される美味しい焼肉や準備されたパーベキュー食料を、たらふく胃袋に詰め込んでいました。また、小さなお子様の皆さんは、お父さん・お母さんと春休みを思い出深い楽しいひと時を過ごせたと感じます。さらに、アトラクションコーナーでは、青年女性委員会によるビンゴゲームで場を盛り上げてくれました。



千早操車場構内死亡労災事故 義援金カンパ取り組み、ご協力ありがとうございました。

3月31日、九州地区本部田代委員長、原書記長がご遺族方へ出向き、義援金を手渡しして参りました。